

量子化学1 演習(6)

学籍番号: _____ 氏名: _____

問題: LiH (水素化リチウム) のような異核二原子分子について, 軌道エネルギー E および分子軌道 Ψ を表す関係式を求めよ。

解答:

異核二原子分子の分子軌道 Ψ は, これまでに学んだ同核二原子分子 (H_2 など) と同様に, 分子を形成する2個の原子の原子軌道をそれぞれ ϕ_1 および ϕ_2 とすると, 展開係数 C_1 および C_2 を用いて

$$\Psi = \boxed{} \dots (1)$$

と書ける。この分子軌道のエネルギーは, 次の永年行列式を解くことで得られる。

$$\begin{vmatrix} H_{11} - ES_{11} & H_{12} - ES_{12} \\ H_{12} - ES_{12} & H_{22} - ES_{22} \end{vmatrix} = 0 \dots (2)$$

各原子軌道が規格化されているとすると, 重なり積分 S_{11} および S_{22} の値は

$$S_{11} = \int \phi_1^* \phi_1 d\tau = \boxed{} \dots (3)$$

$$S_{22} = \int \phi_2^* \phi_2 d\tau = \boxed{}$$

その他の積分の値については, 下記のように, それぞれ置き換えることにする。

$$H_{11} = \alpha_1, \quad H_{22} = \alpha_2, \quad H_{21} = H_{12} = \beta, \quad S_{21} = S_{12} = S \dots (4)$$

式(3) および(4) に基づいて, 式(2) の H_{nm} および S_{nm} の値を置き換えると

$$\begin{vmatrix} \boxed{\phantom{\alpha_1 - ES_{11}}} & \boxed{\phantom{\beta - ES_{12}}} \\ \boxed{\phantom{\beta - ES_{12}}} & \boxed{\phantom{\alpha_2 - ES_{22}}} \end{vmatrix} = 0$$

この永年行列式を展開すると

$$\boxed{\phantom{(\alpha_1 - ES_{11})(\alpha_2 - ES_{22}) - (\beta - ES_{12})^2}} - (\beta - ES)^2 = 0 \dots (5)$$

同核二原子分子では $\alpha_1 = \alpha_2$ だったので, 上記のような二次方程式も簡単に解けたが, 異核二原子分子では $\alpha_1 \neq \alpha_2$ なので少し難しい。したがって, 簡単化のために, 式(5)の重なり積分を $S = 0$ と近似すると

$$\boxed{} = 0$$

これを展開して整理すると

$$E^2 - (\alpha_1 + \alpha_2)E + \alpha_1\alpha_2 - \beta^2 = 0$$

この二次方程式を解くことで, 軌道エネルギー E を求めることができる。

$$E = \boxed{\phantom{\frac{(\alpha_1 + \alpha_2) \pm \sqrt{(\alpha_1 + \alpha_2)^2 - 4(\alpha_1\alpha_2 - \beta^2)}}{2}}}$$

次に分子軌道 Ψ について、その展開係数 C_1 および C_2 の値は、下記の永年方程式を出発点として求める。

$$\begin{cases} C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12}) = 0 \\ C_1(H_{12} - ES_{12}) + C_2(H_{22} - E) = 0 \end{cases} \dots (6)$$

軌道エネルギーを求めたときと同様に、積分の値については、下記のように置き換えることにする。

$$H_{11} = \alpha_1, \quad H_{22} = \alpha_2, \quad H_{21} = H_{12} = \beta, \quad S_{11} = S_{22} = 1, \quad S_{21} = S_{12} = S = 0 \quad \dots (7)$$

式 (7) に基づいて、式 (6) の H_{nm} および S_{nm} の値を置き換えると

$$\begin{cases} \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} = 0 \\ \boxed{\phantom{C_1(H_{12} - ES_{12}) + C_2(H_{22} - E)}} = 0 \end{cases} \dots (8)$$

式 (8) を整理すると

$$C_2 = \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} C_1 \quad \dots (9)$$

分子軌道が規格化されている ($\int \Psi^* \Psi d\tau = 1$) とすると、下記の条件が成り立つ。

$$C_1^2 + C_2^2 = 1 \quad \dots (10)$$

式 (10) に、式 (9) を代入すると

$$\boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} = 1 \quad \dots (11)$$

式 (11) を整理すると

$$\left(1 + \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} \right) C_1^2 = \left(\frac{\boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}}}{\beta^2} \right) C_1^2 = 1$$

したがって、展開係数 C_1 の値は

$$C_1 = \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} \quad \dots (12)$$

さらに、展開係数 C_2 の値は、式 (9) に式 (12) を代入して

$$C_2 = \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}}$$

最後に、展開係数 C_1 および C_2 を式 (1) に代入することで、異核二原子分子の分子軌道 Ψ が得られる。

$$\Psi = \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} \phi_1 + \boxed{\phantom{C_1(H_{11} - E) + C_2(H_{12} - ES_{12})}} \phi_2$$